



はじめに Kubernetes clusters

NetApp
June 23, 2022

目次

はじめに	1
Cloud Manager での Kubernetes によるデータ管理	1
Kubernetes クラスタの導入を開始する	2

はじめに

Cloud Manager での Kubernetes によるデータ管理

Astra Trident は、ネットアップが管理している、完全にサポートされているオープンソースプロジェクトです。Kubernetes と Persistent Volume フレームワークとネイティブに統合されている Astra Trident は、ネットアップストレージプラットフォームを任意に組み合わせて実行されているシステムから、ボリュームのプロビジョニングと管理をシームレスに行います。"[Trident の詳細をご確認ください](#)"。

の機能

Kubernetes クラスタは、Cloud Manager を使用して直接管理できます。

- Astra Trident をインストール
- ハイブリッドクラウドインフラの一部としてクラスタを追加、管理
- ストレージクラスを追加して管理し、作業環境に接続する。
- Cloud Backup Service を使用して永続ボリュームをバックアップする。

サポートされる Kubernetes 環境

Cloud Manager は、で実行されるマネージド Kubernetes クラスタをサポートします。

- "[Amazon Elastic Kubernetes Service \(Amazon EKS\)](#)"
- "[Microsoft Azure Kubernetes Service \(AKS\)](#)"
- "[Google Kubernetes Engine \(GKE\)](#)"

サポートされている Astra Trident 環境

最新バージョンの 4 つの Astra Trident が必要です。Trident は Cloud Manager から直接インストールできます。お勧めします "[前提条件を確認します](#)" インストールの前に、

Astra Trident をアップグレードするには、"[オペレータにアップグレードしてください](#)"。

サポートされるバックエンドストレージ

ネットアップの Astra Trident は各 Kubernetes クラスタにインストールする必要があり、Cloud Volumes ONTAP または Amazon FSX for ONTAP はクラスタのバックエンドストレージとして設定する必要があります。

コスト

Cloud Manager で Kubernetes クラスタを検出する際に料金は発生しませんが、Cloud Backup Service を使用して永続ボリュームをバックアップした場合に料金が発生します。

Kubernetes クラスタの導入を開始する

Kubernetes クラスタを Cloud Manager に追加して、いくつかの高度なデータ管理手順をすばやく実行

クイックスタート

これらの手順を実行すると、すぐに作業を開始できます。

ご使用の環境がクラスタタイプ的前提条件を満たしていることを確認してください。

["Google Cloud の Kubernetes クラスタの要件"](#)

Kubernetes クラスタを追加し、Cloud Manager を使用して作業環境に接続できます。

["Google Cloud Kubernetes クラスタを追加"](#)

Kubernetes の標準のインターフェイスと構成要素を使用して、永続ボリュームを要求および管理できます。Cloud Manager では、NFS ストレージクラスと iSCSI ストレージクラスが作成されます。このクラスは、永続的ボリュームのプロビジョニング時に使用できます。

["Trident を使用した最初のボリュームのプロビジョニングの詳細をご確認ください"](#)。

Kubernetes クラスタを Cloud Manager に追加したら、Cloud Manager のリソースページでクラスタを管理できます。

["Kubernetes クラスタを管理する方法について説明します。"](#)

著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。